



持続可能な
インパクトを
生み出そう



観 楓 会
親睦活動委員会担当例会

9月29日^(火)
N031088 回例会



宮澤会員増強委員長卓話

会 長 報 告

木村 喜芳会長

本日は会員増強委員会の担当例会となります。最初のご報告として、1988 年の入会から 39 年間にわたり本クラブに貢献された児島俊一パスト会長より、体調不良による退会の申し出があり、先日の理事会にて承認されました。

さて、今月の月間テーマは「基本的教育識字率向上」です。「ロータリーの友」6 月号に掲載された「ブラックサンダー」に関する記事をご紹介します。このお菓子は、2008 年北京五輪で銀メダルを獲得した体操の内村航平選手が好物として挙げたことで爆発的人気となりましたが、以前は売れ行きが伸びず生産停止寸前の状態にありました。製造元である有楽製菓（愛知県豊橋市）の河合伴治会長は、業績拡大に伴い社会貢献を模索する中で、原料であるカカオの生産農園にて多くの子供たちが学校にも行けず過酷な児童労働に従事している実態を知ります。同社は「お菓子を通じて関わるあらゆる人々を笑顔にする」というビジョンを掲げていましたが、河合会長はその「あらゆる人」の中に生産現場の子供たちが含まれていない現実には直視しました。原料担当者からの反対を押し切り、自分が正しいと確信した信念のもとで改善に取り組み、課題解決（スマイルカカオプロジェクト）を達成させました。損得や効率ばかりが重視される時代だからこそ、簡単な道に流されず「誰もが笑顔になれる選択」をし続ける姿勢が示されています。9 月 8 日は「国際識字デー」です。世界には 1 億 6000 万人の児童労働者（5～17 歳人口の 10%）が存在し、読み書きができない 15 歳以上の成人は約 7 億 7500 万人（成人の 17%）にのぼります。ロータリー財団は学校支援や性差別解消、識字力向上に向けた活動を支援しており、皆様からの寄付金もこうした支援に役立てられています。各テーブルにはブラックサンダーをご用意しました。裏面の QR コードから同社の取り組みをご覧ください。食後にぜひお召し上がりください。身近なお菓子を通して、奉仕の心と教育支援の大切さを再認識していただければ幸いです。

例 会 案 内 「9 月～11 月」例会案内

- 9月29日(火) 観楓会 夜間(富士屋)
- 10月 6日(火) 総会/財団・米山
- 10月13日(火) 準法廷休会
- 10月20日(火) 地区大会報告(経済センター)
- 10月27日(火) ロータリー情報①(夜間)
- 11月 3日(火) 法廷休会
- 11月10日(火) 例会運営委員会担当例会

出 席 報 告 9 月 1 5 日 例 会

総 会 員 数 27 名
欠 席 者 数 7 名 石川、井上、津田、島田
吉居、山脇、武田各会員
出 席 率 74.07 %
前回メーキャップ 0 名
前回修正出席率 64.29 %

前例会幹事報告

山脇副幹事

- 滝川 RC より例会案内の送付の送付
- 芦別 RC より会報の送付
- 砂川 RC より会報の送付
- R I よりザ・ロータリアン誌英語版の送付

スマイルBOX 106,000円

- 樋口会員 夫婦仲良く誕生日です
- 圓浄 P 会長 8/22 誕生日でした 58 才です

宮澤会員増強委員長卓話

7月26日に開催された「クラブ活性化ワークショップ」に、木村会長・成田P会長・私の3名がZoomで参加しました。前半ではパストガバナーによる「会員状況の重要性」についての講話があり、後半は各クラブの現状や課題を共有する分科会が行われました。

講話ではまず「魅力あるクラブづくり」が強調され、個人の魅力と組織の魅力が会員増強の鍵であるとされ、会長テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」に基づき、地区の数値目標（150名以上）に沿ったクラブごとの目標設定と達成プランの重要性が示されました。また、衛星クラブ・法人クラブ・専門職クラブ・パスポートクラブなど柔軟なクラブ形態の導入が活性化につながると紹介されました。

さらに、札幌ライラックRCの個性的なクラブ運営が例として挙げられたほか、「入会と同じくらい退会防止が重要」と強調されました。退会は突然ではなく、日常の小さな不満の積み重ねが「最後の一滴」となって起こるため、孤立した会員を作らない配慮や声かけが不可欠とされました。

クラブ内のインクルージョン（多様性の尊重）も重要で、誰もが大切にされていると感じられる居心地の良いクラブづくりが求められるということです。また、会員増強には「個人の魅力（高潔さ・職業倫理・四つのテストを語れる力）」と「組織の魅力（補助金活用・社会的評価・地域貢献）」の両方が必要とされました。

ロータリークラブは「人生の道場」であり、学びの場であると米山町氏の言葉が紹介され、クラブ内での喧嘩・悪口などは厳禁とされます。クラブ活性化には会長・幹事などリーダーのやる気が不可欠で、信念を持って行動することが求められます。

最後に、クラブ活性化の10の行動方針として、クラブの長所短所の把握、会員増強、公共イメージ向上、財団支援、若い世代の育成、将来像の共有などが示され、また、マイロータリーの「クラブセントラル」を活用し、数値目標や戦略計画を可視化して共有することが推奨されました。



会員増強と退会防止



インクルージョン

自分が大切にされていると
誰もが感じる帰属意識
居心地の良いクラブ

この3つは厳禁



信念を持つ



深川
RC

例会運営委員会

委員長 佐々木弘有
副委員長 轡田光章

会長 木村 喜芳
幹事 清水 秀晃

深川
RC

会長エレクト 平瀬 文男
副幹事 山脇 康弘

副会長 森 隆江
会計 廣上 晃士

■例会場 ラ・カンパニーホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3F TEL (0164)34-6228
■URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>

■例会日 毎週火曜日
■第2510地区第1グループ
■Mail fukagawa-RC@club502.jp

